

会 議 録

会議の名称	平成 29 年度第 2 回茨木市文化振興施策推進委員会
開催日時	平成 29 年 11 月 17 日（金） （午前 <u>午後</u> 2 時 開会 （午前 <u>午後</u> 3 時 30 分 閉会
開催場所	市役所南館 3 階 防災会議室
議 長	出口委員（委員長）
出 席 者	雨森委員、飯嶋委員、大西委員、川本委員、木村委員、出口委員 【6 人】
欠 席 者	池上委員、栗本委員、山野委員 【3 人】
事務局職員	文化振興課関係 田川市民文化部長、小田市民文化部理事、庄田文化振興課長、 寺田文化振興課長代理、田中文化振興課振興係長、川寄文化振興課職員 政策企画課関係 秋元企画財政部長、向田政策企画課参事 【8 人】
開催形態	☒ 公開 / 非公開
議題（案件）	(1) 市民会館跡地活用について (2) 平成 28・29 年度文化事業実施実績及び状況について (3) 平成 28・29 年度茨木市文化振興財団芸術文化事業実施状況について (4) その他
配布資料	(1) 次第 (2) 委員名簿 (3) 茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想（案） (4) 平成 29 年度文化振興事業一覧（文化振興課） (5) 茨木市文化振興財団 平成 28・29 年度芸術文化事業実施状況 ※飯嶋委員提出資料 茨木市市民会館跡地エリア活用基本構想案について、工期等その他課題からの検討
傍 聴 人	1 人

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	1 開会 ただ今から、第2回茨木市文化振興施策推進委員会を開催する。 最初に委員の出席状況を事務局から報告をお願いする。
庄田文化振興課長	委員の出席状況を報告する。池上委員、栗本委員、山野委員は本日、欠席する旨の連絡を受けており、全委員9人のうち本日出席の委員は6人で、過半数以上の委員が出席しており、茨木市文化振興施策推進委員会規則第6条第2項に基づき、会議は成立している。
出口委員長	2 議事 それでは、これより案件の審議に入る。まず、案件について事務局の説明を求める。
庄田文化振興課長	本日は案件が3つある。1つ目は「市民会館跡地活用について」の報告、2つ目、3つ目は、茨木市附属機関設置条例に定められた本委員会の事務である文化振興に関する事項「平成28・29年度文化事業実施実績及び状況について」、「平成28・29年度茨木市文化振興財団芸術文化事業実施状況について」となっている。
庄田文化振興課長	(1) 市民会館跡地活用について まず、1つめの案件であるが、市民会館跡地活用については、市長から茨木市市民会館跡地活用検討委員会に諮問し、審議している内容である。この基本構想（案）の内容のなかにホール施設の箇所が文化施策に関連しており、本委員会で内容を共有するために報告するものである。 それでは、市民会館跡地活用の担当課である政策企画課の向田参事から現在の状況について報告する。
向田政策企画課参事	【「市民会館跡地活用について」説明】
出口委員長	説明は終了した。市民会館跡地活用について報告を受けた。プロセスから結論まで様々な議論が素晴らしい形で集約されており、良い印象を受けた。各委員、感想はあるか。
木村委員	良くできていると感じた。跡地エリアをどうするかをしばらく置いて、茨木市内のエリアとして跡地をどう活用するか考えてはどうか。基本構想の前に阪急、J Rの両駅から跡地まで到着する道中など、東西南北、茨木市全体を見て根本的に考えた方がいいのではと感じている。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
秋元企画財政部長	ごもつともである。市民会館の跡地だけでなく、中心市街地も含めてエリアデザインを考えている。その中で市民会館の跡地活用を先行して検討している状況である。
出口委員長	私も木村委員と同じ意見である。跡地は阪急とＪＲの通りの中間に位置しており、その通りが素晴らしいものになることで、跡地が活きてくると思う。
飯嶋委員	基本構想（案）の策定段階で 100 人の意見を聞くと 100 通りの考えがある。色々な活動を想定するとコーディネート、マネジメントする人材が必要となる。本市では 20 年前から文化振興財団が音楽、美術、文化など幅広い活動を担っている。市と文化振興財団との横のつながりを強めて活動して欲しい。
秋元企画財政部長	エリアを活かすことは非常に重要と考えており、今後の検討事項である。良いコンセプトのもと、それを活かすコーディネートについては研究する必要がある。
川本委員	基本構想（案）は読みやすく良くできていると思うが気になる点がある。38 ページにホール機能のキーワードとして「市民の“ハレの場”」としている。劇場という観点からみると平成 24 年に制定された「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」第 3 条に劇場の役割が 8 項目規定されている。貸館事業は 8 項目の 1 つに過ぎない。近年、劇場関係で社会的包摂という概念が重要視されている。劇場は「好きな人」「お金がある人」「時間がある人」が行く場所と一般的に思われているが、社会的包摂の概念では誰でも鑑賞する権利があるので、様々な立場の人が鑑賞できる機会を行政が設定する必要がある。他県の事例で言うと、滋賀県や兵庫県では小学生が卒業するまでに全員がオペラなどを観劇する機会を設けている。法律に定められている劇場としての役割も少なからず意識する必要性があると思います。
秋元企画財政部長	基本構想（案）ではホールを発表の場と記載しているが、跡地はコンセプトである「育てる場」としてホールだけでなく、新たな心の中心地として、何かあったら来てもらう場所、何もなくても来てもらう場所としたいと考えている。その中で重要な役割を担うホールについては文化の視点を取り入れながら、プラスアルファとして幅広い機能も期待する。
雨森委員	跡地については、出来た後に誰がその場所を育てていくのかということが重要である。そのイメージが欠けると絵に描いた餅となるので、今後はそのあたりも考えながら進めて欲しい。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
大西委員	茨木市文化振興財団として今後のスケジュールを気に掛けている。新たな施設の建設は今後の事業展開や各組織との連携において大きく影響するため、予定どおり進めていって欲しい。
出口委員長	100 人会議など多くの市民の意見を聞くことは良くあるが、ここまで最大公約数をロジカルに集約していることは素晴らしい。ただ、今後具体化するにあたっては最大公約数という形は取りにくくなるので、スケジュールを考えながら取り組んでいって欲しい。
秋元企画財政部長	ここで、前回の審議会で現在、北グラウンドとして使用している箇所に新たな施設を建設してはどうかという意見に対して、建設は無理であると答えたが、あらためて情報を整理したので、この場で報告する。 北グラウンドの地下には駐車場があり、構造上、このまま地上に新たな施設を建設することはできない。建設する方法としては、地下駐車場を解体、再建設することで可能となるが、コストとして解体に約 5 億、再建設に約 40 億の費用を要するとともに、工期は 2 年ほど延長となる。平成 4 年につくった地下駐車場は収容台数約 300 台、建設費約 36 億円、残り耐用年数 25 年、減価償却を引いた残存価値約 19 億円、年間収入約 2,000 万円となっている。整理すると地下駐車場の解体、再建設に要する計約 45 億円のコストに加えて、残存価値約 19 億円と年間収入約 2,000 万円の駐車場を 5 年間閉鎖した場合の逸失的な利益約 1 億円で計約 20 億円の市のマイナスを合わせたトータル約 65 億円が市の損失となるため、北グラウンドに建設することは選択していない。
飯嶋委員	49 ページの費用の件で質問がある。B 案の代替施設が「一」となっているが、これは、B 案の場合、代替施設は借りずに福祉文化会館を使用するということでもいいか。
秋元企画財政部長	そのとおりである。B 案の場合は新たな施設が建つまでは福祉文化会館を使用することから代替施設は不要であり、費用が掛からないため「一」としている。新たな施設建設にあたって A 案では、先に福祉文化会館を解体するため、仮設の事務室の設置等に約 4.8 億円を要する。一方、B 案では市民会館解体、新しい施設建設、福祉文化会館解体の順で工事を行う。
出口委員長	他に何か意見等はあるか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件 1 「市民会館跡地活用について」の報告を終了する。
庄田文化振興課長	ここで、企画財政部秋元部長と政策企画課向田参事は退室する。
出口委員長	(2) 平成 28・29 年度文化事業実施実績及び状況について 次の案件について、事務局の説明を求める。
田中振興係長	【「平成 28・29 年度文化事業実施実績及び状況について」説明】
出口委員長	説明は終了した。良いイベントを多く実施しているので、市民の方に積極的に P R をして欲しい。
小田市民文化部理事	ホームページのトップに掲載するなどして P R していく。
出口委員長	他に何か意見等はあるか。
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件 2 「平成 28・29 年度文化事業実施実績及び状況について」の報告を終了する。
出口委員長	(3) 平成 28・29 年度茨木市文化振興財団芸術文化事業実施状況について 次の案件について、茨木市文化振興財団の理事長である大西委員から説明を求める。
大西委員	【「平成 28・29 年度茨木市文化振興財団芸術文化事業実施状況について」説明】
出口委員長	説明は終了した。各委員、意見はあるか。
雨森委員	地域交流公演事業の音楽配達便の開催場所は市内施設 14 か所とあるがどのような施設で公演しているのか。

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
飯嶋委員	音楽会場への来場が難しい方のために、公民館、養護施設、老人ホームなどの施設で開催している。何年も続けている事業で今年は37回開催している。
出口委員長	他に何か意見等はあるか。
各委員	【意見なし】
出口委員長	それでは、案件3「平成28・29年度茨木市文化振興財団芸術文化事業実施状況について」の報告を終了する。
出口委員長	(4) その他 飯嶋委員が提出した市民会館跡地活用に関する資料について、説明を求める。
飯嶋委員	私が提出した資料のC案にあたる北グラウンド建設案はB案の南グラウンドの緑地買い取りに要する9億円を北グラウンドの地下駐車場の方に回すことはできないかと思っていたが、先ほどの説明で莫大な費用が掛かるため、難しいということを理解した。また、現在、市内には200から300席のホール施設が4つあるが、そのうちの1つである福祉文化会館の文化ホールが使えなくなるとさらに音楽芸術協会の活動を縮小することになるので、それに代わる施設がないことを懸念していたが、B案の説明の中で福祉文化会館が新たな施設が建つまでの5・6年存続するということが分かり安心した。 次に、阪急東口エリアの活用はこれといった案が出ていない状況であるので、利便性の良い場所にホールがあることが望ましいと思い、駅前で傘もささずに来場できる阪急東口エリアと市民会館跡地エリアを統合したD案を提案する。 市民会館跡地活用検討委員会において、川本委員が提出したホールのあり方についての資料が非常に良くまとまっており、素晴らしいものであった。 市民会館の大ホールに代わる施設だけでなく、福祉文化会館の文化ホールに代わるホールの建設についても検討して欲しいと思い提案した。
出口委員長	茨木の文化振興のために今後とも皆さんの英知を集めて、然るべき委員会等で実現に向けて進めていって欲しい。 他に何か意見等はあるか。
各委員	【意見なし】

議 事 の 経 過	
発言者	議 題 (案 件) ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
出口委員長	3 閉会 それでは、事務局から何か連絡事項があれば、お願いします。 事務局から報告する。 本日の会議録については、後日、メールまたは郵送にて送付し、内容確認後に公開する。 次回の委員会は、3月頃の開催を予定している。また、日時等、決定次第、連絡する。 事務局からは以上である。 それでは、本日の会議は、これをもって終了とする。
庄田文化振興課長	
出口委員長	